

クリーン農業は土づくりから！

# 雪印の夏播き緑肥作物アラカルト



センチュウ対抗作物  
**ハイオーツ**

### 【特性】

- ・生育旺盛で極多収。
- ・細茎・多葉で分けつが多く、耐病性が良好。
- ・エンバクの野生種で、種子が小粒で播き得。
- ・ダイコン・ニンジン・ゴボウの大敵：キタネグサレセンチュウを撃退。
- ・ニンジン・ゴボウの大敵：キタネグサレセンチュウを栽培後に減少させる。

### 【栽培法】

- ・播種量：10～15kg/10a（線虫対策は15kg）遅れる場合は20kg播種
- ・播種期：7月下旬～8月中旬
- ・施肥量：窒素-リン酸-カリで5-5-0～5kg

道内初の夏播きできるマメ科緑肥作物

**まめ助**（旧名まめたろう）

### 【特性】

- ・小麦の後作ではエンバクと異なり、イネ科同士の連作を回避できる。
- ・マメ科緑肥作物の中では生育旺盛で極多収。
- ・窒素含量を含め、肥料成分がエンバク以上に豊富。
- ・大きな根粒菌が空中窒素を固定し、土壌を肥沃化。
- ・炭素率が低く、すき込まれた後の分解が早く、翌年の肥効が即効的。

### 【栽培法】

- ・播種量：5kg/10a  
8月中旬播種の場合、エンバク：とちゆたか：3～5kgとまめ助：5kgとの混播をお勧めします。
- ・播種期：7月下旬～8月中旬
- ・施肥量：窒素-リン酸-カリで2～5-5-5kg

（都合により「まめたろう」は「まめ助」に変更しました）



黄色い花が美しい景観緑肥  
**キカラシ**

### 【特性】

- ・発芽が良好で、初期生育が旺盛。
- ・耐倒伏性・耐病性に優れる。
- ・エンバクに比べ生育が旺盛で、短期で極多収。（播種50日ですき込みが可能）。
- ・播種期が遅れても極多収（8月下旬播種も可能）。
- ・農村環境保全のための景観緑肥として最適。（網走管内ではキカラシロードとして有名に）。

### 【栽培法】

- ・播種量：2kg/10a
- ・播種期：7月下旬～8月下旬
- ・施肥量：窒素-リン酸-カリで5～10-5～10-0～7kg/10a

ハウスの土づくりに最適

**つちたろう**

### 【特性】

- ・種子が小粒で、スタンド形成が良好。
- ・寒冷地でも初期生育が良好。
- ・収量性は従来のソルゴー・スタックス緑肥用を明らかに上回る。
- ・ハウスの土づくりや過剰塩類のクリーニングクロープに最適。

### 【栽培法】

- ・播種量：3～5kg/10a
- ・播種期：7月下旬～8月下旬
- ・施肥量：ハウスでは残肥を利用する。

### 【その他】

- ・施設ハウスのサツマイモネグサレセンチュウ対策にはソイルクリーニングが最適。